

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名				コード	4700	バス路線維持対策事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	所管課	企画政策課	担当班	企画調整班
基本施策				22		公共交通網の整備	根拠法令	府馬線運行協定書、旭～銚子線運行協定書	2	1	10	☒ 主な事業				
施策の展開				41		公共交通の確保	戦略事業	198	バス路線維持対策事業			☐ 国土強靱化地域計画				
施策の展開							戦略事業					☐ 新市建設計画				
												☒ 定住自立圏構想				
												☐ 主要事業				

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 11年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	千葉交通網が運行している路線バス(府馬線、旭～銚子線)について、路線を維持させることで地域住民の利便性を確保するため、経常損失額に対して補助を行う。 ※補助については経常損失額の2分の1を路線経路上の関係市(香取市、銚子市、旭市)で負担する。 【府馬線】○小見川駅～府馬～旭駅…旭:50.26% 香取市:49.74% ○小見川駅～府馬～旭農高…旭:51.76% 香取市:48.24% ○小見川駅～府馬～旭中央病院…旭:53.06% 香取市:46.94% 【旭～銚子線】○陣屋町～イオン銚子～飯岡～旭駅…旭:47.67% 銚子市:52.33% ○陣屋町～イオン銚子～飯岡～旭中央病院～旭駅…旭:48.65% 銚子市:51.35% ○東芝町～イオン銚子～飯岡～旭中央病院～旭駅…旭:50.29% 銚子市:49.71% ○陣屋町～イオン銚子～飯岡…旭:17.94% 銚子市:82.06% ○銚子駅～イオン銚子～飯岡…旭:19.55% 銚子市:80.45% ○東芝町～イオン銚子～旭農高…旭:47.77% 銚子市:52.23%		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
平成14年の道路運送法の改正に伴い、本路線についても不採算路線との理由から退出の申し出があった。千葉県バス対策地域協議会との協議の結果、「生活路線として必要不可欠であるため、関係市の補助を受け運行を維持する。」とされた。	府馬線については利用者が減少してきているが、旭～銚子線においては銚子イオンへの乗り入れ、銚子市の中学校の統廃合による新たな需要が生れたため、利用者が増えた。生活交通として必要不可欠ではあるが、今後も人口減少により利用者は減少すると推測される。		銚子市の学校統廃合により、通学にも使われている路線から必要不可欠である。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)	単位:千円	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
1.負担金補助及び交付金	5,138	5,092	4,995	5,342	5,138	5,138
2.経常損失額への補助金						
3.						
4.						
② 特定財源の内訳(27年度の決算)	単位:千円	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
1.国庫支出金	0					
2.都道府県支出金	0					
3.地方債	0					
4.その他	0					
事業費計(A)		5,092	4,995	5,342	5,138	5,138
1.国庫支出金						
2.都道府県支出金						
3.地方債						
4.その他						
5.一般財源		5,092	4,995	5,342	5,138	5,138

前年度増減理由	バスの年間利用者数が5,103人減少した分、運行経費が減少したため。
---------	------------------------------------

従事職員数 常時 1人 最大 1人 × 5日 = 延べ 5人

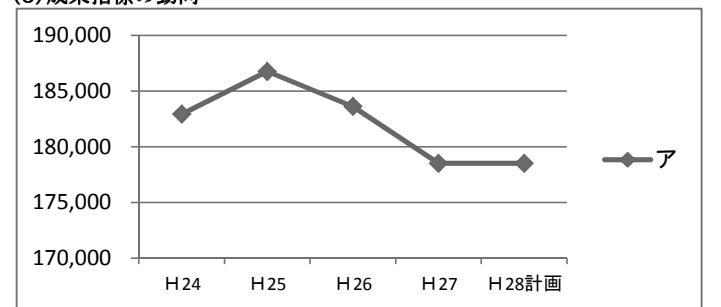
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
27年度実績(27年度に行った主な活動)		ア 1日当たりの便数(土・日曜日、祝日)	便	36(26)	36(26)	36(26)	36(26)	36(26)
補助金交付		イ 停留所数	箇所	92	92	92	92	92
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
対象 市民		ア 年間利用者数	人	182,914	186,750	183,612	178,509	178,509
目的 移動手段を確保することにより生活の活域が広がる。		イ						
対象意図								

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				②コスト削減優先度評価結果				
		成果向上余地			コスト比率			
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3	
施策貢献度	大きい				成果優先度 評価結果	①		
	普通			⑦		②		
	小さい					③		
						④⑤		
				⑥				
				⑦⑧	(7)			
				⑨				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況	☐完了☐順調☒概ね順調☐停滞☐実施困難													
【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)														
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28計画
【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	成果動向	24年度	25年度	26年度	27年度		
	少子高齢化に伴い、恒常的に利用が見込まれる学生等の減少が要因と考えられる。								ア		3,836	△ 3,138	△ 5,103	0
									イ	0	0	0	0	0
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐拡大☐縮小		☒現状維持☐廃止・休止	☐見直し☐その他 ()					
	下半期	地域公共交通網形成計画の策定に向けて、府馬線及び旭～銚子線における問題点及び課題について整理する。			H29.6月～H30.3月			利便性の高い交通体系の構築を図るため、地域公共交通網形成計画を策定にあたり、利用者の意見や運行事業者の意向を確認するなど、分析・調査を行う。						